

国内の新型コロナウイルス感染・死者数と曜日の関係

西村 柁哉(220x022x)

1.Introduction

現在新型コロナウイルスの感染者及び死者数は減少傾向にあり、数回のピークを過ぎた状況にある。しかし、いまだに感染者・死者数共に0とはならず油断できない状況でもある。今回、情報可視化論で得た技術を使い、新型コロナウイルスの情報の可視化を行う。

2.方法

今回可視化の方法として、散布図と棒グラフを用いる。散布図では縦軸に一日あたりの死者数、横軸には一日あたりの感染者数をとっており、曜日ごとに点を色分けしている。また棒グラフでは曜日ごとの感染者数と死者数をそれぞれグラフにしている。

3.結果

可視化の結果として、散布図を Fig.1、曜日ごとの感染者数を Fig.2、曜日ごとの死者数を Fig.3 に示す。

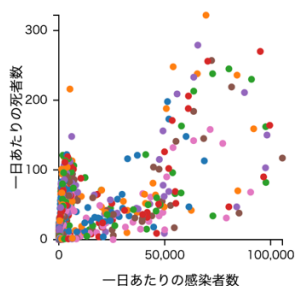


Fig.1 散布図

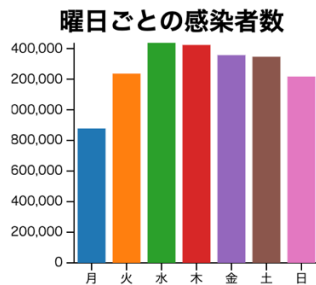


Fig.2 棒グラフ(感染者数)

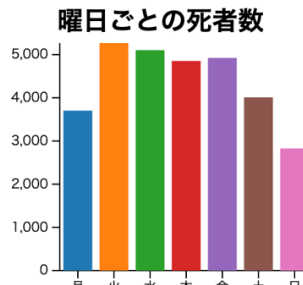


Fig.3 棒グラフ(死者数)

4.考察・結論

散布図を見ると、一日あたりの感染者数と死者数がともに多い日が少ないことがわかる。また、棒グラフを見ると一日あたりの感染者数は月曜日が少なく、死者数は月曜日・日曜日が少ないことがわかる。これは医療機関が土日が休みであることが多く、検査結果は通常数日後に結果が出るため月曜日・日曜日の感染者・死者数が少なくなっていると考えられる。

5.参考資料

新型コロナウイルス 日本国内の感染者数・死者数・重症者数データ | NHK 特設サイト (<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/>)